

第4期 第6回麻生区区民会議 議事要旨

1 開催日時 平成25年11月25日(月)午後3時~午後4時15分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

菅原委員長、東川副委員長、金光委員、菅野委員、村主委員、高倉委員、高瀬委員、高橋(慶)委員、高橋(庸)委員、武濤委員、田中委員、長谷川委員、矢野委員、山田委員、吉田委員

(欠席) 石井副委員長、加賀美委員、梶委員、久保倉委員、横山委員

[参与]

雨笠参与、尾作参与、勝又参与、木庭参与、月本参与、山崎参与、吉田参与
(欠席) 花輪参与、相原参与

[事務局]

鈴木課長、白石担当係長、佐伯、藤江、麻生

[関係者]

多田区長、中山副区長、安藤区民サービス部長、浅見保健福祉センター所長(医監)、猪瀬生涯学習支援課長、杉山総務課長、田中地域振興課長、山田危機管理担当課長、こども支援室小林室長、道路公園センター丹羽課長

4 傍聴者 2人

5 議事 報告事項

(1) 安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について

村主委員(安全・安心のまちづくり部会・部会長)が資料をもとに説明し承認を得た。

- ・テーマ「大地震から助かる命を守る」のもと、モデル事業を実施している。
- ・モデル事業の対象世帯は、戸建て13戸(2世帯住宅2戸含む)、マンション系6戸で合計19戸、目標数にほぼ達した。
- ・9月17日に作戦会議を開催。区民会議委員に加え、明治大学の園田先生、施工部門を担う建築技術者、家具の固定に取り組んでいる市民活動者と話し合い具体的な作業手続きを確認した。
- ・応募世帯から、戸建て系、マンション系、一つを選択し、プレモデルとして先行して調査と工事を実施し、モデル事業に取り組む上での確認事項を明確にした。(マンションは工事の際、管理組合との調整が必要である等)
- ・10月28日にモデル事業の応募者向けに説明会を開催し、事業の詳細についての説明と質疑応答を行った。(14世帯が参加)
- ・11月から本格的な実施に入っており、現在、委員がそれぞれの世帯に張り付

いて、調査と工事を着々と進めている。実施している中で、想定外の気づきや感触を得つつある。

- ・モデル事業の経験を活かして、1月以降、提言の作成や区民向けの普及啓発方法の検討の作業に入っていく。

(主な意見)

- ・モデル事業に協力した町内会の方から喜びの声があった。大地震を体験されていた79歳の方。夜、安心して眠れるようになったとのこと。
- ・内容のあるモデル事業なので、報告会を実施するなど、具体的に成果を区民に知らせる場を考えているか。
→子育てフェスタ等で発表を行うかどうかも含め、これから部会内で検討していきたい。
- ・部会では「死者数を0にすることを目標に、区民による主体的な取組みにつなげる」を第1に掲げているが、一体どのような形でつなげていくのか。町会や自治会などの組織を想定しているのか。
→区内をカバーしている町会、自治会、自主防災組織との連携が最も望ましい姿だと思う。今の段階ではモデル事業の実施で手一杯なので、事業終了後、普及方法を検討していきたい。

(2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について

山田委員（若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会・副部会長）が資料をもとに説明し、承認を得た。

- ・「子育てしやすい環境づくり」について、母親へのアンケート結果を元に6つのグループと行政機関に対してヒアリングを実施。その結果を踏まえて、麻生の特徴的な取り組みを生かした多様な子育て支援の実現へ向け、提言を検討している。
- ・「芸術・文化のまちづくり」について、第3期のフォローアップと第4期からの課題である「若者や子どもなど多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり」の2つの方向から提言の検討を進めている。
- ・子育てしやすい環境づくりと芸術・文化のまちづくりという2つのテーマを総合する形で、来年4月にあさお子育てフェスタを開催する。
- ・子育てフェスタは「安心・楽しい・助かる」の3つのキーワードと「子育てするなら麻生区で」というスローガンに結びつけて開催する。麻生区の6大学連携に基づく区の行政の協力や、若者が自主的に参加できるような仕掛けも含めて準備を進めていきたい。

菅原委員長より補足説明

- ・区役所関係とのヒアリング結果で、行政機関は多様な子育て支援を行っていることが分かった。しかし、情報提供が不十分で一時保育事業等、サービス内容が区民の認識やニーズと異なる面が見られた。情報提供を充実させるための1つの手段として、今回の子育てフェスタがあげられる。子育てフェスタを通し

て、多くの子育てのお母さん、子どもたちが触れ合うような機会をつくっていききたい。

- ・子育てフェスタの開催は4月13日の10時半から15時。会場は区役所の会議室やロビー、区役所前の広場、保健所予防接種ホール、レストランあさお。内容は、区内の子育て団体の紹介ブース、育児相談室、育児情報コーナー、バザー、遊びの広場、ミニコンサート等を検討。
- ・子育てフェスタに参加、協力していただいた大学生や若者から意見を聴取、その他参加者にアンケートをとって、その結果を検討して提言に組み込んでいく予定。現在、委員がいろいろな団体に働きかけをしているところである。

(3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

金光委員（企画部会・部会長）より区民会議報告書の説明と併せて、企画部会の報告がなされ、承認を得た。

- ・区民会議ニュース第4号を発行した。防災に関するフォーラムと子育てフェスタの告知を掲載。5号については、来年の2月に子育てフェスタの開催案内用の広報。最終号については、区民会議全体や部会の提案についての報告を掲載する予定。
- ・区民会議報告書の作成スケジュールについて
提言と子育てフェスタ以外の、検討経過などの原稿は2月の全体会議に間に合うように作成する。その後、5月の合同部会で各部会相互で提言について意見交換し、5月に開催される第8回全体会議で最終的な報告を行う。（各部会は、課題を設定した背景や検討経過の原稿を2月までに作成する。）
- ・区民会議報告書の概要について
報告書は小冊子250部を予定。概要版は提言をコンパクトにまとめたものA3を2つ折りにした4ページもの町内会への回覧を想定しているが、来年の予算等を考慮したい。
- ・区民会議報告書の作成方法について
各部会に関する原稿は各部会で作成する。その後企画部会で全体の調整を図り、2月、5月の全体会へ提出する。
- ・区民会議報告書の目次について
1章で区民会議の概要、2章で審議課題の選定や会議の構成役割、3章で各部会の検討経過、4章で区民会議フォーラムと子育てフェスタ、5章で提言、最後に資料編として調査や資料をまとめて掲載する予定である。およそ50ページを想定している。

田中委員（企画部会・副部会長）より9月に開催された区民会議フォーラムの報告がなされた。

- ・153人で、高齢の方の参加が多かった。防災に関心が高い年齢層ということで、今後、活動を進めていく上で、大きな戦力として期待できる。
- ・大学教授の方の講演と区民会議の簡単な報告、展示という内容だったが、講演内容に参加者は大変興味を持っていたようだ。

- ・「区民会議をご存知でしたか？」という設問に対して、「フォーラムで初めて知った」という方が45.9%と、半分近くの方が、このフォーラムに参加して区民会議の存在を知ったという結果であった。次回の子育てフェスタでも、区民会議のPRの大きな機会になるのではないかと期待できる。

(4) 平成25年度区民会議交流会の開催について

1月22日の区民会議交流会について事務局より説明がなされた。

- ・麻生区からは15名の委員の方が参加予定。内容は、7区の取り組み状況の報告と、7区の委員の交流。今後、当日の資料や内容の詳細の情報が入り次第、適宜各部会で説明する。

(5) 参与、区長の感想